

策定年月	令和6年5月
見直し年月	令和 年 月

# 麦・大豆国産化プラン

産地名：岩手県奥州産地

(作成主体：農事組合法人新里アグリード)

# 1. 麦・大豆生産の現状と課題及び課題解決に向けた取組方針

## (1) 現状と課題

受益地域の4法人から作業受託し、リュウホウの刈り取り作業を行っている。

近年の米価下落の影響を受け、水稻からの転換作物の中心として大豆作付面積が拡大しているが、面積の拡大に伴い作業受託面積も拡大していることから、作業効率の向上が必要である。

また、作業受託をしている作付ほ場の大豆生産量について令和5年産は地域平均単収を上回る実績ではあるものの、大豆は水田転作ほ場での作付けであり、湿害が発生し地域の平均単収を下回る年もあることから、高品質な大豆の安定供給をめざし、品質及び単収の向上が必要である。

## (2) 課題解決に向けた取組方針

乾燥機及び選別機を新規導入することにより、現有機とあわせ乾燥調製作業の効率を高めることにより、受託作業面積を拡大することにより大豆の取り扱い数量が増えても、収穫作業を適期に行い、品質及び単収の維持・向上を図る。

また、連作障害の発生を抑制するため、作業受託する各法人との話し合いを適宜行うことにより、ブロックローテーションに引き続き取り組む。

※ 麦・大豆生産における課題(湿害対策、適期播種、土づくり、連作障害対策等の必要性等)を具体的に記載すること。

※ 課題解決に向けて取り組む内容及び今後の生産拡大に向けた方針を具体的に記載すること。

## 2. 産地と実需者との連携方針

集荷事業者を通じ、実需から要望される品種や需要量等を適切に把握するとともに、作型や収量性を考慮し、品種の選定・導入の検討を行う。

農事組合法人新里アグリード（岩手県奥州産地）

供給

品質・需要量等要望

大豆集荷事業者

岩手ふるさと農業協同組合

取扱量 現状：78,440kg  
目標：87,210kg

→全国農業協同組合連合会

供給

品質・需要量等要望

大豆卸→大豆実需者

豆腐製造業者：

納豆製造業者：

等

等

大豆  
(R5) 1,483t  
(目標) 2,720t

※ 産地と実需者については具体的な名称を記載すること。

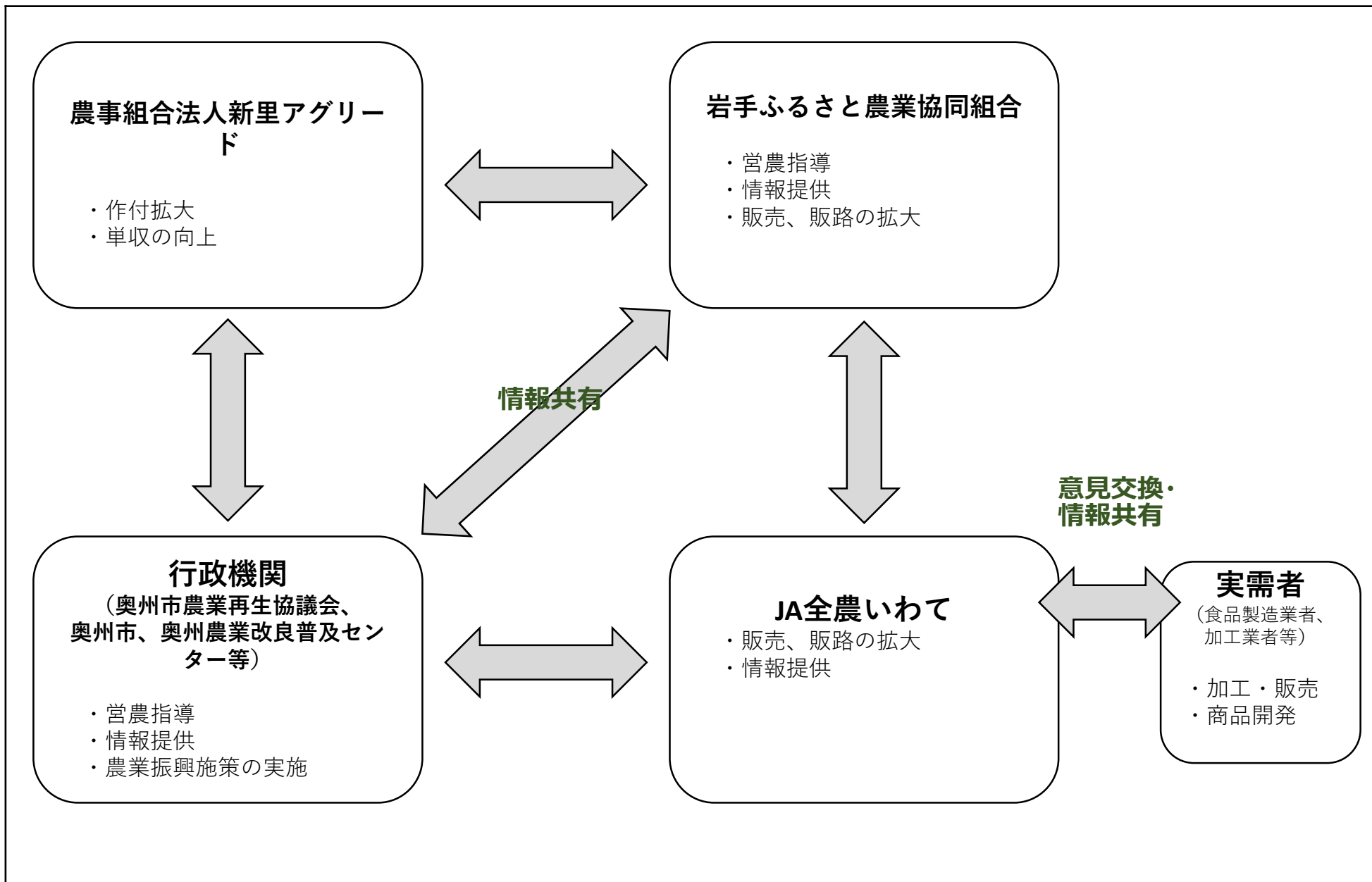
※ 麦の実需者は、麦を原料とした加工品等の製造を業とする者（製粉会社、製パン会社、製麺会社等）とする。

※ 大豆の実需者は、大豆を原料とした加工品等の製造を業とする者、大豆の販売を業とする者及びこれらの者が組織する法人その他の団体とする。

なお、販売を業とする者を実需者とする場合は、その者が販売する先（最終実需者）について、代表的な者の名称を記載すること。

※ 産地と実需者それぞれの国産麦・大豆取扱量の現状とおおむねの目標値を記載すること。

### 3. 麦・大豆の国産化に向けた推進体制及び各関係者の役割



※ 産地と実需者との連携について、図等を用いて明示すること。

※ 取組の中心となる農業者等を必ず位置付けること。